

氏名	宇野 潤一郎
学位の種類	医学博士
学位授与番号	乙 第650号
学位授与の日付	昭和49年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	人白血病のウイルス学的研究 第1篇 Rauscher白血病ウイルス抗血清を用いた蛍光抗体法による Rauscher 白血病細胞および人白血病細胞のウイルス抗原の検索 第2篇 Rauscher 白血病ウイルス感染人由来リンパ球様株細胞の蛍光抗体法による species-specific (gs-1) antigen と interspecies-specific (gs-3) antigen の検索
論文審査委員	教授 矢部 芳郎 教授 俵 寿太郎 教授 大藤 真

## 学位論文内容の要旨

人白血病におけるウイルスの関与をC型RNAウイルスの立場から解明を試みるため以下の研究を行なった。第1篇ではRauscher白血病ウイルス(RLV)山羊血清を用いた蛍光抗体法直接法によりRLV感染マウスの初期病変における肝、脾のウイルス抗原の現れ方を追求し、さらに人白血病細胞のRLV抗原の検索を試みた。RLV感染3日目に初めて、肝および脾にウイルス抗原陽性細胞の出現を認め、その数は経時的に増加した。また人白血病細胞とRLV抗体との交叉反応はみられなかった。すなわち、白血病26例を含む悪性腫瘍患者及び正常人など計48例の骨髓及び末梢血細胞のすべてに特異蛍光はみられなかった。第2篇ではRLV持続感染人由来リンパ球様株細胞のOUMS-11a-R, OUMS-6C<sub>1</sub>-R<sub>1</sub>, OUMS-6C<sub>1</sub>-R<sub>2</sub>におけるgs抗原の分析を抗gs-1血清と抗gs-3血清を用いた蛍光抗体法で行なった。gs-1抗原はOUMS-11a-Rで0.2-0.6%, OUMS-6C<sub>1</sub>-R<sub>1</sub>, R<sub>2</sub>では8-15%に認められたが、gs-3抗原はいずれのcell lineでも検出できなかった。以上の成績から人白血病のウイルス関与については考察した。

## 論文審査の結果の要旨

本研究は、Rauscher白血病ウイルスの精製抗体を使用して、蛍光抗体法により、人白血病細胞およびRauscherウイルス感染人由来リンパ芽球様株細胞における白血病ウイルス関連抗原の存否を検討し、新しい知見を得たものである。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。